自由民主党千葉県第８選挙区支部発行　〒277-0814　柏市正連寺373-3　TEL04-7132-0881　令和元年10月22日発行

絆

第225号

自由民主党

衆議院議員
桜田よしたか

日本！この国を強い国に！
～国・地域・家族を守る～

台風19号災害の犠牲者に心から哀悼の誠を捧げます。防災対策の早急な強化を！

令和元年10月13日（日）柏市利根川堤防にて。台風19号よる大雨は、関東地方から東北地方各地に甚大な被害をもたらしました。9月の台風15号による被災地である千葉県においても最大級の警戒態勢が敷かれました。各地では堤防の決壊や越水・浸水が頻発し、利根川でも雨が上がった後に洪水警報が発令されるなど、近年稀に見る緊急事態となりました。平成8年（1996年）に国会議員に当選してから、地域の皆様の要望を受けて、利根遊水地の堤防のかさ上げを実現させましたが、今回の大雨は、まさに想定を超えるレベルの大雨で、水田や畑が広がる遊水地も完全に水没しております。

※国・県・市と連携を図り被災者の声を届けます（9月18日）

9月の台風15号では、千葉県南部を中心に、停電・断水・通信途絶・道路寸断など甚大な被害が発生しました。自治体を主体とした災害救助法、そして国からも激甚災害指定を早期に実施すべく、河上茂・今井勝・中澤裕隆等千葉県議や千葉県と各自治体関係者と連携し、被災地に赴き災害に会われた皆様の要望をお伺い致しました。なお、自衛隊・消防・警察・自治体などの災害出動の活動の邪魔をすることがないよう、被災地の落ち着きが取り戻した頃合いを慎重に見計らいながら現地視察を実施しております。

※　自民党千葉県連として国に緊急要望、自民党一丸となり台風19号に対応

①台風15号の被害を受けて、千葉県内各地の被害や要望を自民党千葉県連所属の衆参国会議員が勢ぞろいして、国の中央官庁に対して、被災地各地の国会議員が細かい状況を報告し、迅速かつ効果的な対応をするべく、ともに何ができるかを協議。さらに翌日以降、来襲が予想される台風19号へ対応も合わせて議員、中央官庁と千葉県で連携を図ることを確認。（写真上2枚　10月8日自民党本部）。

②台風19号が猛威を振るった直後の10月15日、自民党本部で全国会議員に、二階幹事長から召集が掛かり緊急対策会議を実施。被災地の救助と復旧を最優先に、自民党としての緊急提言と政府への迅速な対応を実施することを全自民党国会議員の総意として決議。政府も国会も一致して災害対策に全力を傾けます。

☆頻発する異常気象。更なる自然災害への備えを！

今回の台風19号は、まさに「スーパー台風」といっても過言ではない台風でした。昔に比べても酷暑といえるような熱い日々が続いたり、日本各地で「ゲリラ豪雨」が発生したりと、昔に比べて、異常気象とも言えるような自然災害が発生していると思います。民主党から政権を奪還した直後の平成25年2月にも、私は以下のように、自然災害への警鐘を金融政策と財政政策の必要性を主張しておりました（下記絆159号記事抜粋ご参照）。

その後6年で、まさにアベノミクス（金融政策＋財政政策）による日本経済の復活が私の予言を的中させていたかと思います。また本当に必要な公共工事についても安倍政権では着実に実施するようになりましたが、それ以上に地球環境が大きく変化してきているような気がしてなりません。

堤防やダムの補修工事は、今回の被災地以外でも、全国各地で「総点検」を実施し、緊急性が高い箇所については、早急に高規格化を実施することが「命」を守ることに繋がりましょう。

さらには、自治体と自衛隊・警察・消防との更なる連携強化と、我々日本国民全員が、さらに防災意識を高め、非難訓練や危険個所の確認など、できることを着実に実施することが必要でしょう。国の中央防災会議でも東海地震、東南海地震、南海トラフ地震など今後数十年間での高確率での発生が予測されているところ、我々国民の側としても、自助・公助・共助の精神を発揮して、緊急事態・非常事態への対策を真剣に考える時期が到来したことを、政治家としての責任に於いて積極的に発信をして参ります。

【絆159号　平成25年2月号より抜粋】

*・・・財政出動とは、簡単にいえば、冷え込んでしまった民間景気に活力を与えるべく、景気が悪いときに政府主導で実施する公共事業が代表的でしょう。ところが、公共事業という言葉を聞いただけで、**「また自民党は無駄な公共事業を計画している！」**とか、**「利権政治の復活だ！」**とか**「コンクリートから人へ！」**など批判する方々がおられます。しかし、東日本大震災を始めとして、いつ起こってもおかしくない**関東直下型地震、東海地震、東南海地震、地球温暖化に起因した極地的豪雨**や**巨大台風、火山の噴火**など、**日本は諸外国に比べて自然災害が集中して発生する国土**であります。*

【絆189号　平成27年11月号より抜粋】

・・・9月10日に決壊した、常総市三坂町の堤防地点。応急工事による土嚢、矢板鋼板による補強の模様。今回の大雨は、台風18号と台風からかわった低気圧による集中豪雨により鬼怒川上流（栃木県日光市）では観測史上最高の24時間雨量（551㎜）を記録するなど、下流河川にこれまでにない水量が押し寄せてきました。こうした自然災害は、日本のどこでも発生する可能性があります。

10年前、民主党政権下で一旦建設が中断し、群馬県を始めとした利根川下流域の自治体や、我々自民党議員からの猛烈な抗議により建設が再開（野田政権下）した八ッ場ダムは、まさに今回の台風19号の直前に試験**湛水**を開始いたしました。19号による猛烈な雨により、あっという間に7,500万㎥のうち6,500万㎥まで貯水しました。私を始め、もしこのダムが無かりせば、利根川・荒川・江戸川・中川など東京近郊の主要河川がどうなっていたか、背筋が凍る思いであったかと思います。かつて、武田信玄公や徳川家康公が、まさに数世代を掛けても「治水」を国づくりの柱にしたことの意味を、現代の日本人はより真剣に考えなければならないでしょう。私も、これまで以上の国土強靭化、減災防災の国づくりを図ることを皆様にお誓い申し上げます。

☆地元の要望を行政に反映して参ります。

地元の住民の方から、柏市内の国道16号（柏警察付近）の切通しの法面に、草木が繁茂して、歩行者などの通行の妨げになるとの陳情がなされました。私も、実際に現地を何度も確認し、通行者や自転車の通行に支障が出ている状況が見られ、また近所の住民の方からも多くの要望が柏市などに出されていることを確認いたしました。そこで、公共の為に国道管理者への報告や対応要望をしていたところ、迅速に対応をしていただきました。地域の住民の皆様からの公共的な要望に関しては、できる限り迅速に関係先に要望を上げて参りたいと存じます。

☆ご報告：自由民主党団体総局長に就任

自由民主党　団体総局長に就任をいたしました。この役職は、各種団体などから政策や要望をお伺いして、与党としての政策に反映することを目的とする役職であります。二階幹事長を筆頭とした自民党役員会にも参加を要請されたり、毎日のように関係先訪問や会議が連続しております。

党員募集のお知らせ

【入党手続き】 桜田事務所までご連絡ください

【自民党員になると】2年間継続した党員は、自民党総裁選挙の有権者となります。また桜田義孝事務所より活動報告や行事案内をお送り致します。【党員種類】 一般党員　年間 4,000 円　　家族党員　年間 2,000 円

桜田義孝柏事務所
〒277-0814　柏市正連寺 373－3　TEL：04-7132-0881　FAX：04-7132-6456
桜田義孝国会事務所
〒100-8982　東京都千代田区永田町 2-1-2　衆議院第二議員会館 1117 号室
TEL：03-3508-7381　FAX：03-3508-3501
ホームページ　http://www.sakurada-yoshitaka.com/
メールアドレス　web@sakurada-yoshitaka.com
Twitter（ツイッター）　http://twitter.com/ysakurada
☆メールアドレス登録で、櫻田からの耳より情報を配信いたします！上記アドレスまでご連絡ください！